

令和8年度水稻現地講習会

当面の管理について

令和8年6月30日(火)、7月1日(水)

JA利根沼田営農企画課

利根沼田農業事務所農畜産課

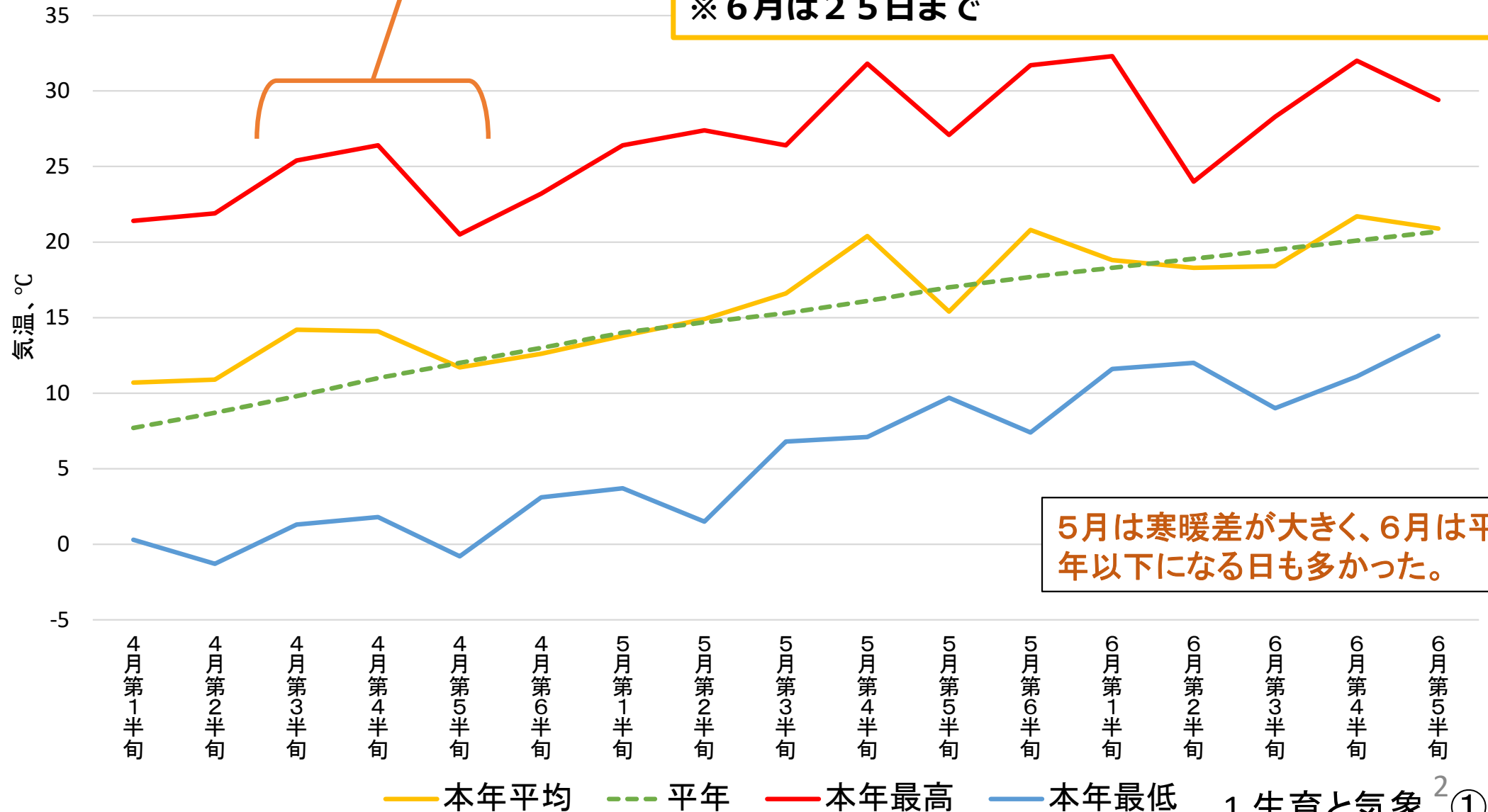
4月以降の気温の推移

アメダス(沼田、標高390m)

4月11日から20日にかけて、平年よりも3.3℃平均して気温が高かった。

4月	12.4℃	(平年比 +2.0℃)	前年比 +0.7℃
5月	17.0℃	(平年比 +1.2℃)	前年比 +0.7℃
6月	19.6℃	(平年比 +0.1℃)	前年比 -1.8℃

※ 6月は25日まで



5月は寒暖差が大きく、6月は平年以下になる日も多かった。

4月以降の日照時間、降水量の推移

【平均日照時間の比較】

4月 平年比 97%

5月 平年比 112%

6月 平年比 88%

※6月は25日まで

アメダス(沼田、標高390m)

【平均降水量の比較】

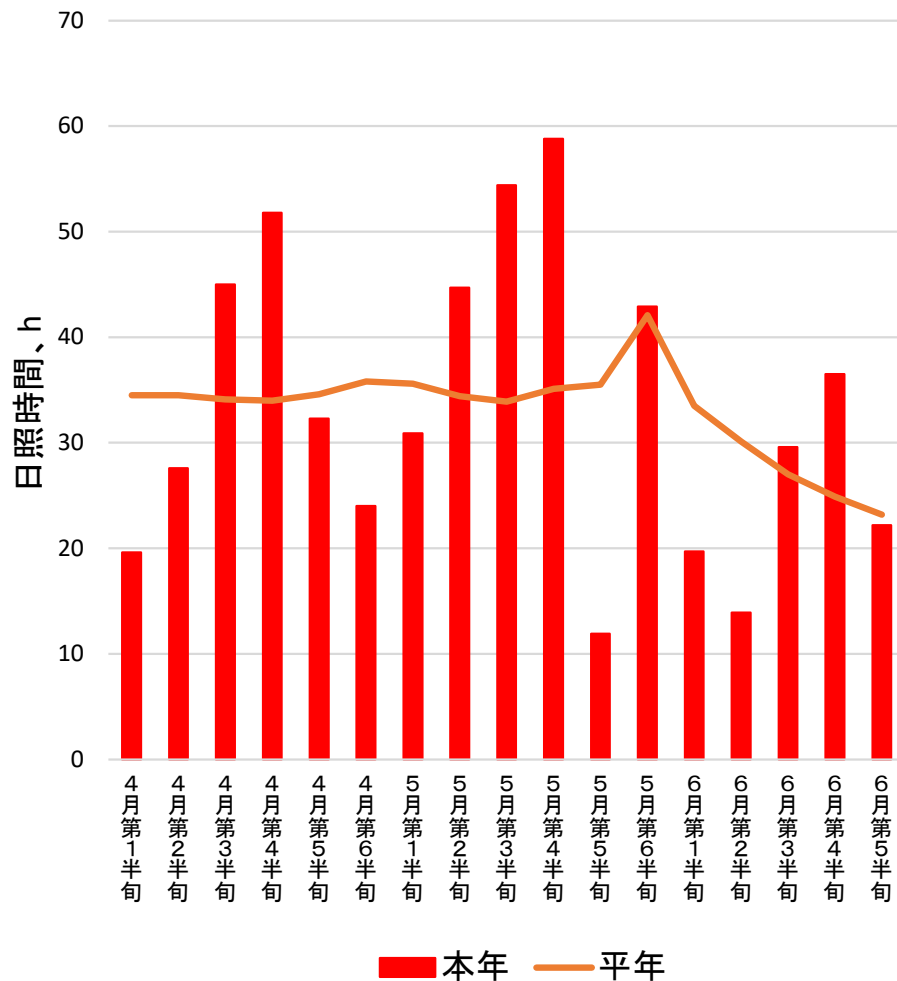
4月 平年比 120%

5月 平年比 96%

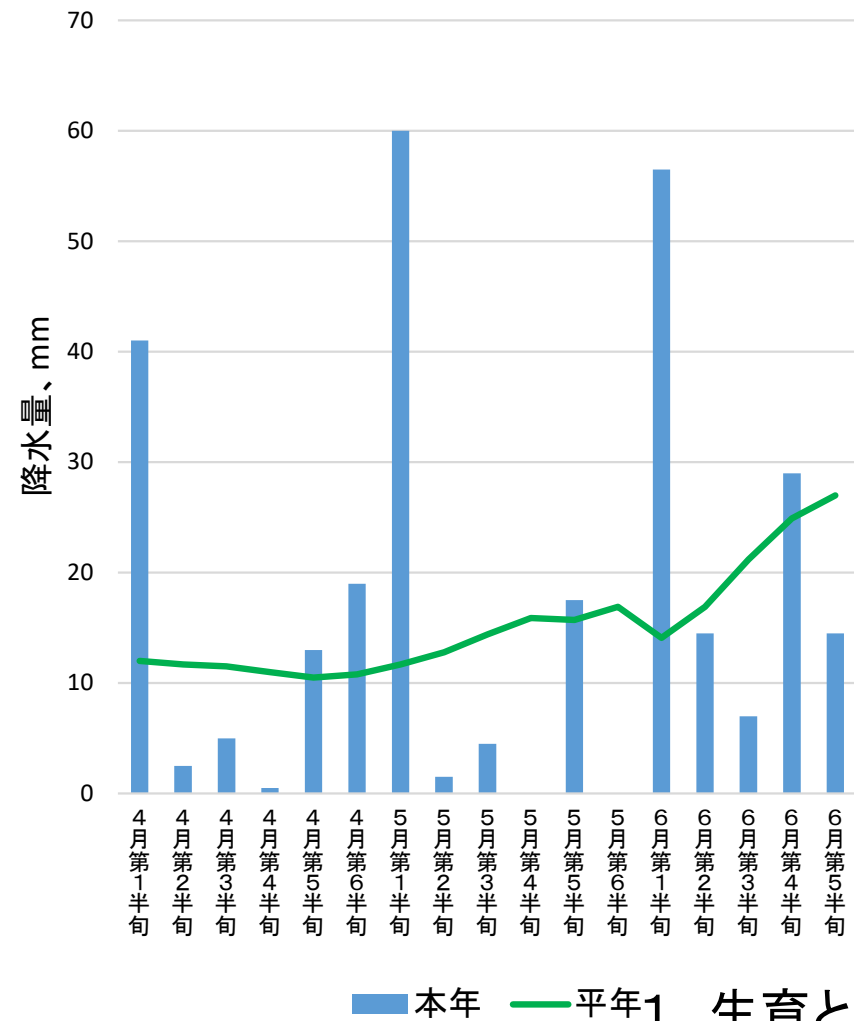
6月 平年比 117%

※6月は25日まで

日照時間(沼田、標高390m)



降水量(沼田、標高390m)

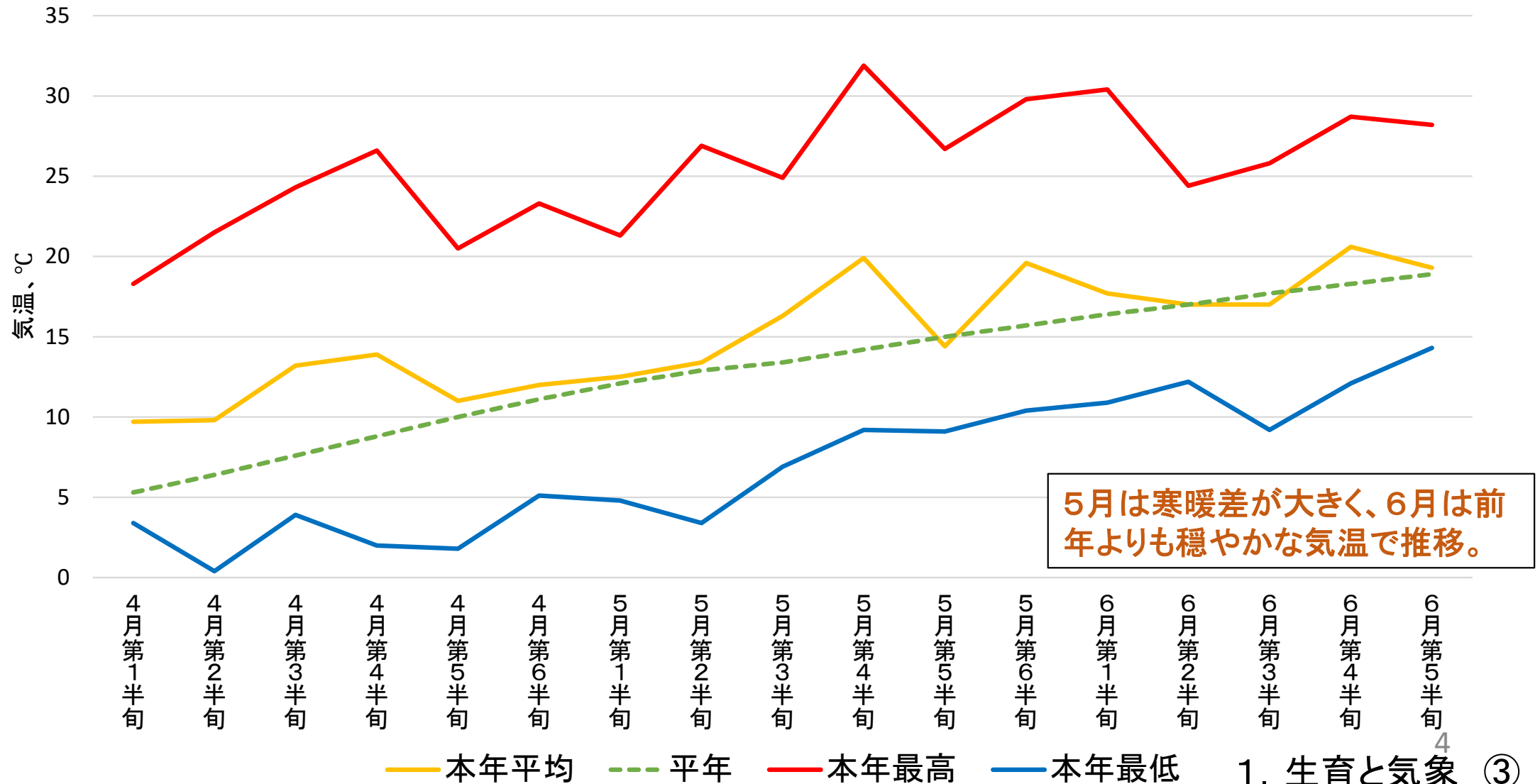


4月以降の気温の推移

アメダス(みなかみ、標高524m)

4月11日から20日にかけて、平年よりも4.7℃平均して気温が高かった。

4月 11.6℃ (平年比 +3.4℃ 前年比 +1.0℃)
5月 16.0℃ (平年比 +2.1℃ 前年比 +0.9℃)
6月 18.3℃ (平年比 +0.7℃ 前年比 -1.9℃)
※ 6月は25日まで



4月以降の日照時間、降水量の推移

アメダス(みなかみ、標高524m)

【平均日照時間の比較】

4月 平年比 **111%**

5月 平年比 **115%**

6月 平年比 **79%**

※6月は25日まで

【平均降水量の比較】

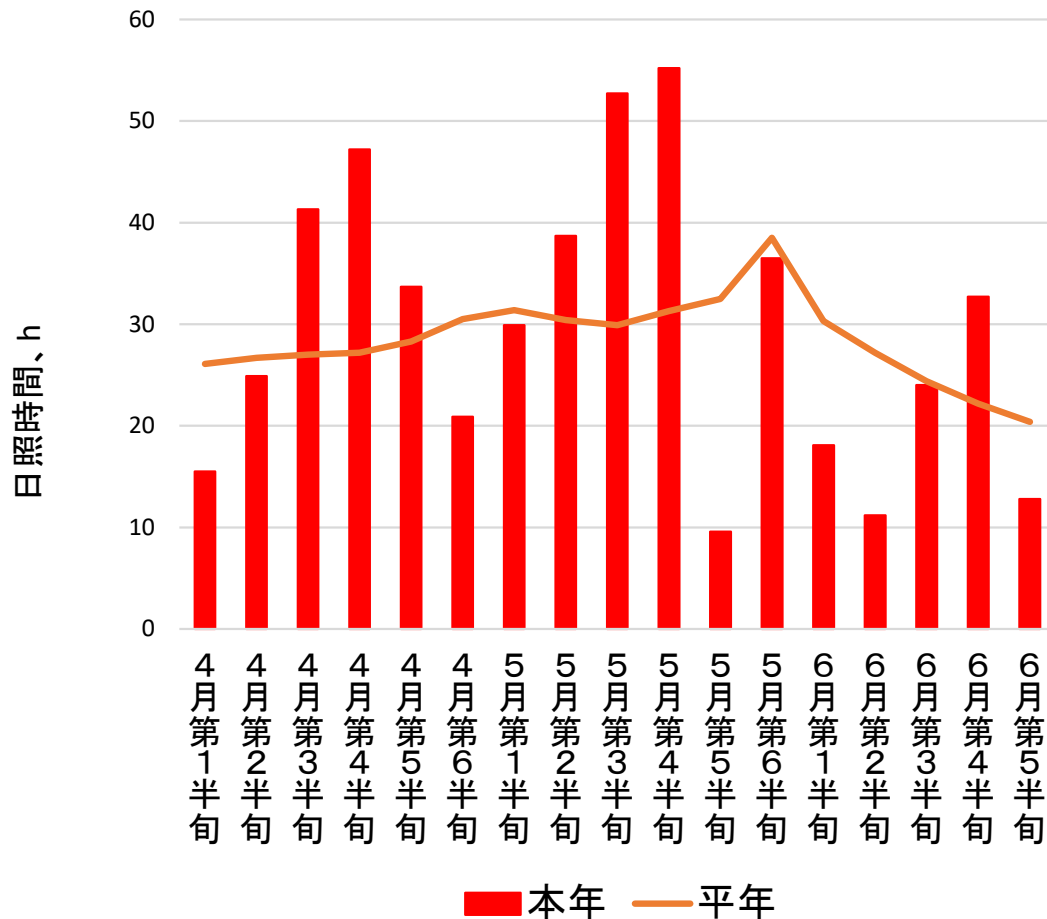
4月 平年比 **76%**

5月 平年比 **108%**

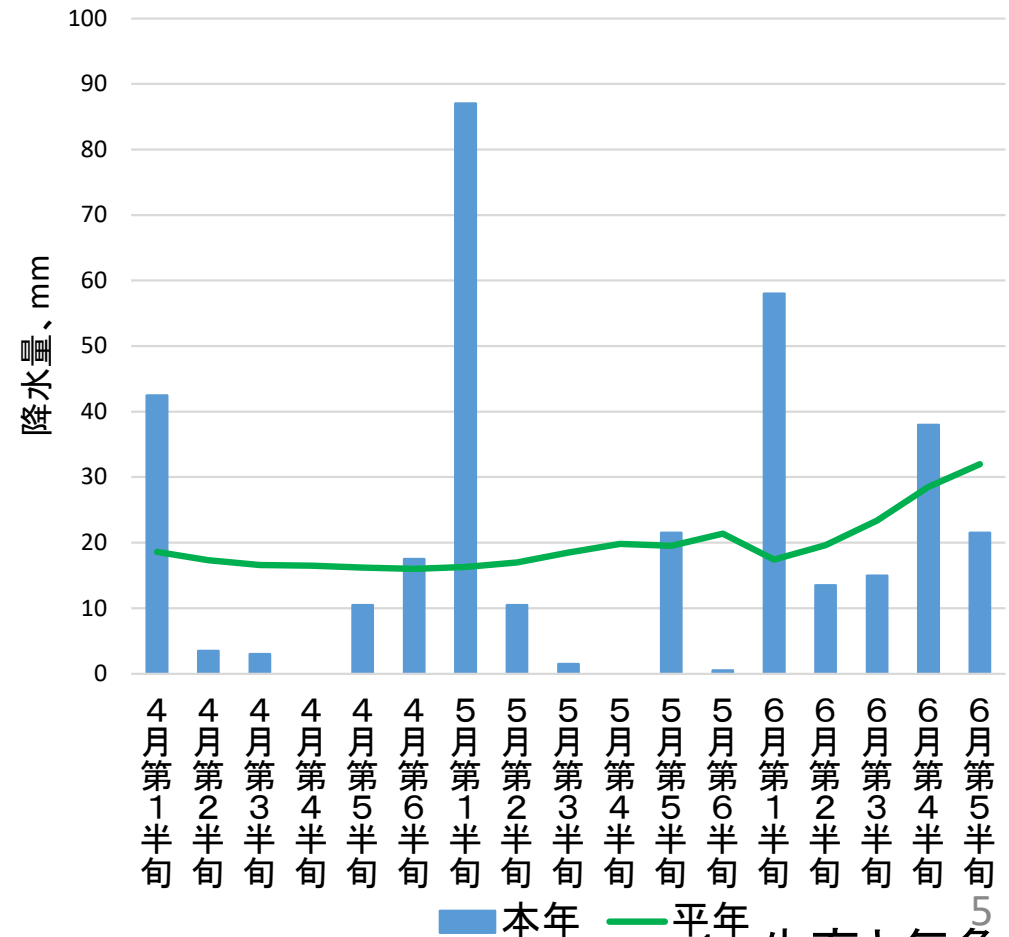
6月 平年比 **121%**

※6月は25日まで

日照時間(みなかみ、標高524m)

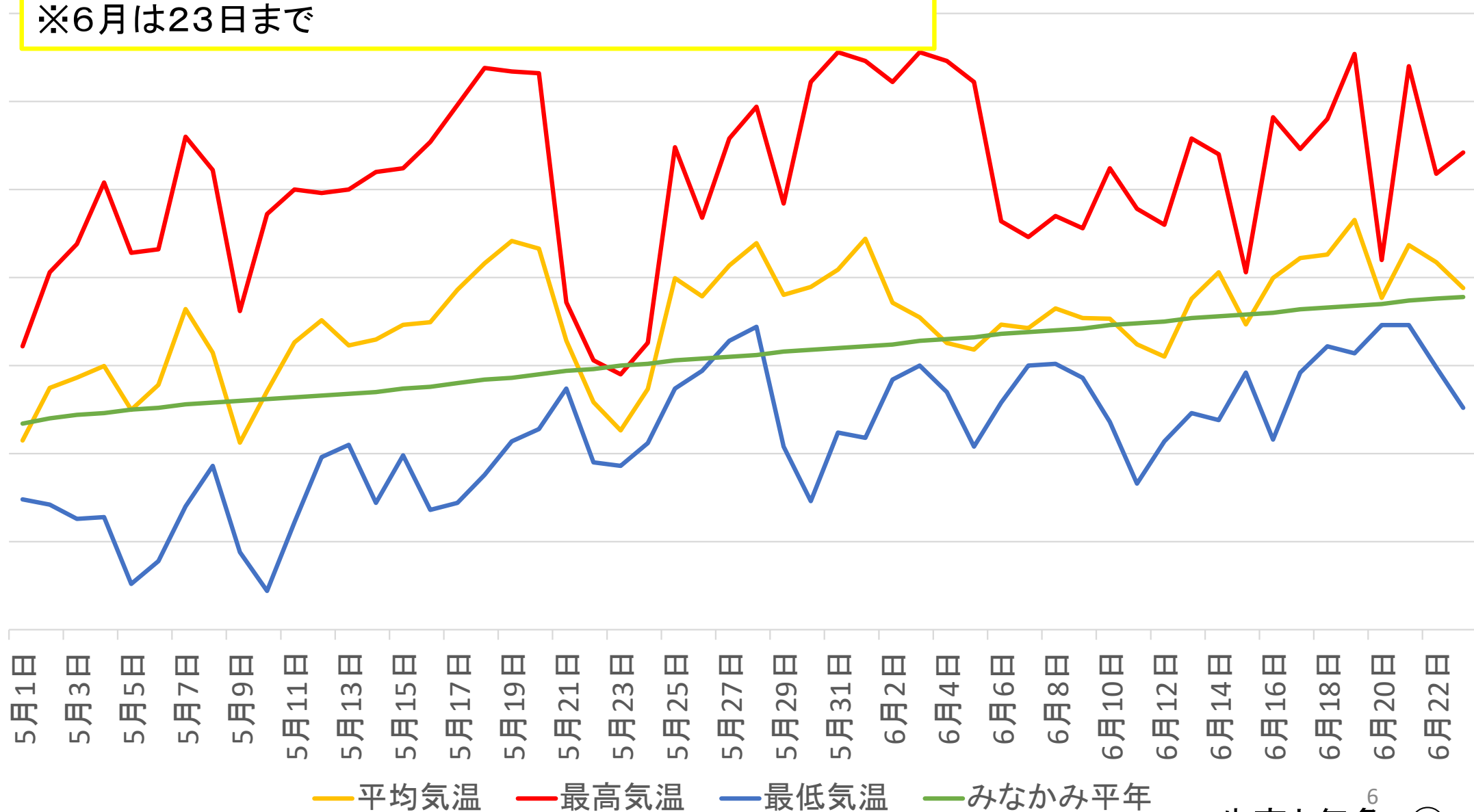


降水量(みなかみ、標高524m)



6月以降の気温の推移 積算温度計(新治)

5月 新治平均 16.7℃ みなかみ平年 13.9℃
6月 新治平均 18.8℃ みなかみ平年 17.5℃
※6月は23日まで



2026年夏(6～8月)の3か月予報(天候・降水量)

(関東甲信、5月19日発表)

	6月	7月	8月
天 候	平年と同様に曇りや雨の日が多い	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多い 期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多い	平年と同様に晴れの日が多い
降水量	少30 並30 多40% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
令和8年 6～8月の平均 降水量予報			

2026年夏(6~8月)の3か月予報(平均気温)

(関東甲信、5月19日発表)

	6月	7月	8月
平均気温	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
令和8年 6~8月の平均 気温予報	平均気温 6月 高60%	平均気温 7月 高60%	平均気温 8月 高60%
【参考比較】 令和7年 6~8月の平均 気温予報	平均気温 6月 高60% 低い確率 (%) 50 40 平均並り 40 40 高い確率 (%) 50 以上	平均気温 7月 高50% 低い確率 (%) 50 40 平均並り 40 40 高い確率 (%) 50 以上	平均気温 8月 高50% 低い確率 (%) 50 40 平均並り 40 40 高い確率 (%) 50 以上

向こう1か月(6/27～7/26)の天候の見通し (関東甲信、6/25発表)

	平均気温 (向こう1か月)	降水量 (向こう1か月)	日照時間 (向こう1か月)
関東甲信地方	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
向こう1ヶ月の 平均気温・降 水量・ 日照時間	平均気温 (1か月) 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 以上 平年並も40 以上	降水量 (1か月) 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 平年並も40 以上	日照時間 (1か月) 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 以上 平年並も40 以上

6/28～7/3までは気温は平年並で、その後高くなる予報。
降水量と日照時間は平年並の見込み。

今年度の生育概況について

現在(6月25日)までの生育状況

現在の生育ステージ・・・分けつ中期から分けつ盛期

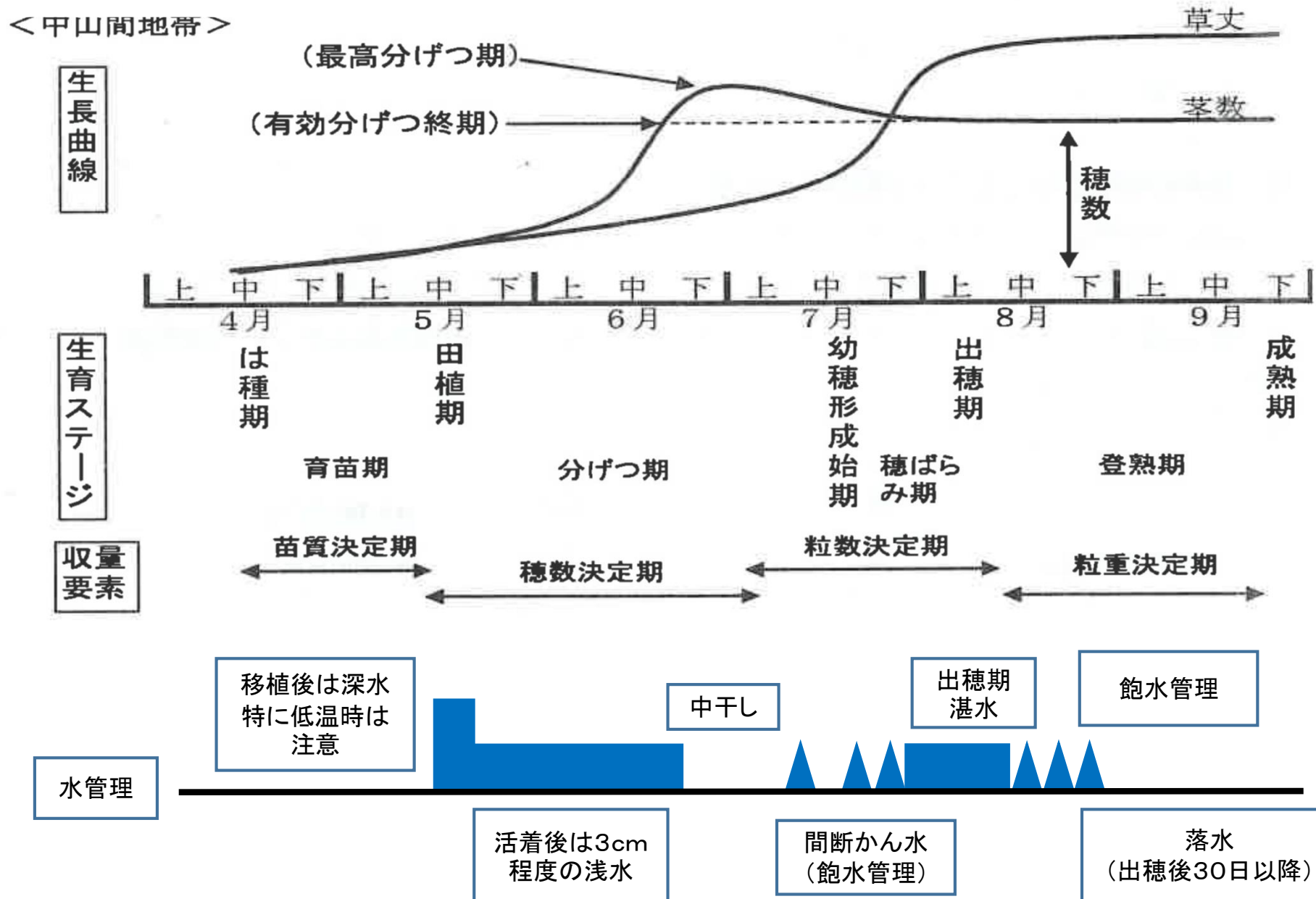
- ・5月中旬以降田植えのほ場では、日照不足等の影響でやや生育が緩慢な傾向がある。
- ・藻の発生がやや多く見られる。
- ・山間部では、シカやイノシシによる被害が見られる。
- ・山手のほ場ではイネミズゾウムシの発生が見られる。

令和8年度 水稻作況ほ調査結果

地点 (品種)	移植期	田植時調査			移植後 20 日調査	
	月日	草丈 (cm)	葉齡	乾物重 (g/100本)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
下沼田(コシヒカリ)	5月20日	14.9	2.7	3.1	33.8	278
平年比	± 0 日	88	81	99	109	111
鎌田 (ひとめぼれ)	5月26日	9.1	2.3	1.0	22.2	136
4カ年比	+5日	87	84	62	105	85
新治 (コシヒカリ)	5月15日	15.4	2.8	2.3	—	—
平年比	-1日	111	92	101	—	—

※鎌田はR4～品種変更のため4カ年比、下沼田の平年値は過去10カ年、新治は参考調査のため移植後20日調査なし(40日調査から実施予定)

水稻の生育ステージと水管理



移植後の水管理におけるポイント

移植後	中干し	出穂期
□ 移植直後は、深水にし、低温から苗を守る □ 活着後は浅水管理、かん水は朝か夕方に行い、水温を確保する	□ 中干しは移植30～35日後を目安に、小ヒビが入る程度まで行う □ 中干し後は間断かん水を行い、根の活力を維持する □ 幼穂形成期以降に高温の場合は、飽水管理を実施。	□ 稲が最も水を必要とするのが出穂期前後のため、この時期はしっかり湛水状態を保つ □ 出穂期以降に高温が続く場合は、飽水管理をしたり、かん水回数を増やしたりする。

移植後の生育障害 赤枯症状について

移植2～3週間後に、下葉の黄化や、葉先の褐変、生育停滞が見られることがある。このような症状を「赤枯れ症」と呼び、ガス（硫化水素など）が発生することもある
※稲わらすき込みが遅れた場合は特に注意。



ガスの発生



下葉の黄化

- まずは落水して土壤中に酸素を供給する。
- 出穂前30～50日頃、カリ施用で根の活性化を図る。
 - ・塩化カリ 10kg/10aまたは
 - ・ケイ酸カリ 30kg/10a
- 被害がみられた場合は、翌年基肥で、ケイ酸、鉄、カリ等が入った改良剤を施用。
 - ・農力アップ 60kg/10a

中干しについて



やや強め



適 当



やや弱め

<中干し開始目安>

□ 移植30～35日後

□ 目標となる十分太い分けつ数が確保されたら実施

今年度は生育が緩慢なほ場もあるため、中干し時期は注意して見極めましょう。

藻類の被害と対策

【主な被害】

- ・日光を遮り、水温や地温が上がらず初期生育が遅れる。
- ・投げ込みの除草剤の拡散を抑えて、**除草剤の効きを悪くしたり、薬害を生じさせたりする。**



中後期除草剤散布前には藻を抑えたい！！

【対策】

□登録のある除草剤の使用

モゲトン粒剤

- ・光合成を阻害して藻やウキクサを枯らすため、晴れの日が2～3日続く日に撒くのがおすすめ。
- ・散布後7日間は落水しない。

□大量発生する前に水の入れ替えをこまめにおこなう。

除草剤の処理層ができていれば、夕方に落水し、朝方入水で水の入れ替え。

塊茎(いも)から発生する雑草



クログワイの写真(宮城県HP参照)



オモダカの写真(宮城県HP参照)

【対策】

- ・塊茎(いも)は土の深いところにもあるため初中期一発剤のみでの防除が困難 → **中後期除草剤との体系処理を**
- ・単年度では防除しきれない場合が多いため、数年かけて根気強く防除をおこなう。
- ・稲刈り後は、早期の耕耘や非選択性の除草剤で塊茎形成を抑制する。

【特徴】

①クログワイ

- ・代かき後25日頃から塊茎で発生。
- ・ **深さ30cm**の土中からでも芽が出る。
- ・ **塊茎の寿命は5～7年**
- ・見た目はホタルイとよく似ている。

②オモダカ

- ・大きい塊茎で**深さ20cm**から発生
- ・窒素吸収量が多い。
- ・幼植物はコナギやウリカワに似ている。

中後期除草剤使用時のポイント

□草種に応じた除草剤の選択

→ 一年生、多年生、イネ科雑草など

□早めに散布をおこなう。

- ・雑草が大きくなると、除草剤が効きにくくなる。
- ・早いうちから出た雑草ほど減収被害が大きい。

□散布方法の確認

- ・ほ場の水持ちや天候で落水散布と湛水散布のどちらが適するか考え、剤を検討。

【湛水散布】

- ・中干し前の散布
- ・省力的に散布できる剤も多い。
- ・水もちが悪すぎないほ場

【落水散布】

- ・中干しの落水に合わせて使用するイメージ
- ・土に湿り気がある程度の状態で散布する剤が多い。

表 除草剤の体系処理の例

雑草の派生状況	4月	5月	6月	7月
一年生・多年生雑草が発生	代かき	移植	中干し	
		一発	中後期剤(湛水散布)	

倒伏対策

登熟の阻害による収量、品質、食味の低下
収穫や乾燥調整の能率の低下

【発生しやすい条件】

- ・窒素施用量や地力窒素が多いほ場
- ・水持ちがよく、排水性の悪いほ場
- ・節間伸長期(特に出穂25～30日前)の日照不足



倒伏程度が大きかったほ場

【対策】

□ 中干し、間断かん水の徹底

特に稲体が青々として、株数が多い場合は、早めに中干しをおこなう。

□ カリ資材やケイ酸資材の施用

(例)元肥や中間追肥(出穂前30～50日頃)にケイ酸カリを施用する

□ 倒伏軽減剤の使用

毎年倒伏に悩まされていたり、上記対策が講じられない場合に使用。

- ・スマレクト粒剤 出穂7～20日前(散布適期:出穂10～15日前)

※出穂前20日以前に処理すると、収量が減少することがあるので注意

いもち病 発見次第防除を！

【発生しやすい条件】

- 平均気温20～25℃程度、多湿で発生が増加する。
- 夜の風が弱い、朝露の乾きが遅い、軟弱徒長で葉色が濃い時は注意。



初期病斑



進行病斑

【対策】

- 箱施用剤の施用。
- **ケイ酸資材**(ケイ酸カリ、農力アップ等)の施用。
- 補植苗等は補植がすんだら速やかに処分。
- 感染好適条件が続く場合は、**本田へ予防的防除**。
オリゼメート粒剤、ゴウケツ粒剤など
- 発生した場合、**治療効果のある薬剤**を散布。
カスミン液剤、ブラシンフロアブルなど
- ※ 止葉で出ている場合は穂いもちに注意する。



穂いもち

稲こうじ病 必ず出穂前の適期防除を！

病原菌が水田表層や土壌中で越冬する。
被害粒が**1粒でも**混入すると規格外。

【発生しやすい条件】

- ・発生ほ場では**翌年も発生するリスクが高い**
- ・穂ばらみ～出穂期の低温多湿、日照不足で発生増加
- ・多肥栽培でも発生が増加

【対策】

□ 箱施用剤の施用

□ **出穂前の本田防除が必須**

・ドイツボルドーA 出穂10日前まで(散布適期:出穂15日前頃)

・モンガリット粒剤 収穫45日前まで(散布適期:出穂18日前頃)

注意①) **発生してからの散布で効果のある薬剤はない。**

注意②) **出穂が近づいてからの散布だと効果が低く、薬害も発生しやすい。**

発生した場合は、収穫以降の管理を別にする。



低温・多雨
の夏は特に
注意

斑点米カメムシ類対策

玄米1000粒中の斑点米混入限度

等 級	1等	2等	3等
斑点米 限度粒数	1	2～3	4～7



1000粒(おおよそカルトン1皿)に2粒あると2等になる



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



チャイロナガカメムシ



ブチヒゲカメムシ



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ

用語の確認 ～出穂期とは～

●出穂はしり(走り穂)

ほ場の中で、はじめて出穂がみられた時期

●出穂期

ほ場全体の40～50%の茎から出穂した時期

●穂揃い期

ほ場全体の80～90%が出穂した時期



葉鞘から籾が
一粒でも出現
した時点をも
その茎の出穂と
する。



出穂はしり



2
～
4
日
後



出穂期

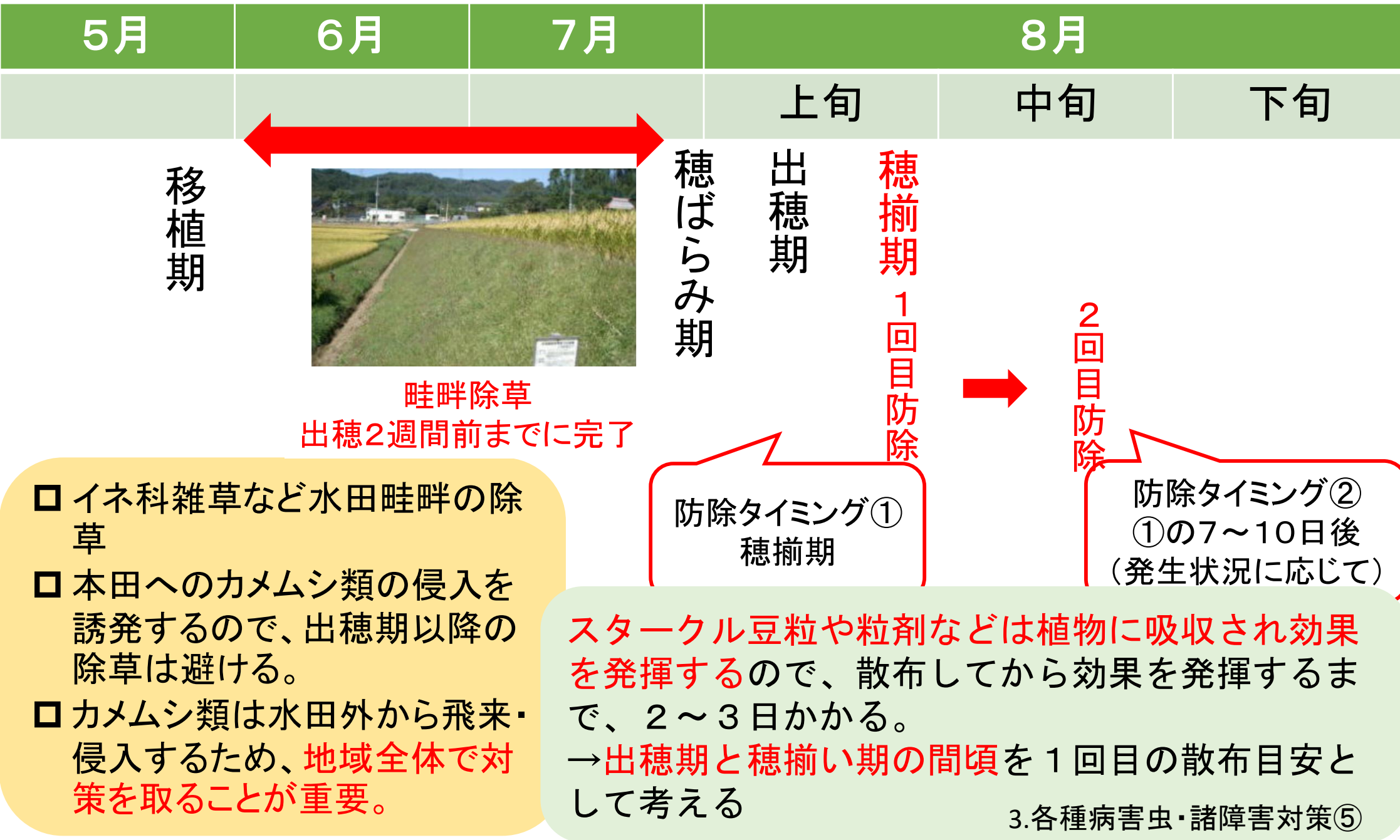


2
～
4
日
後



穂揃い期

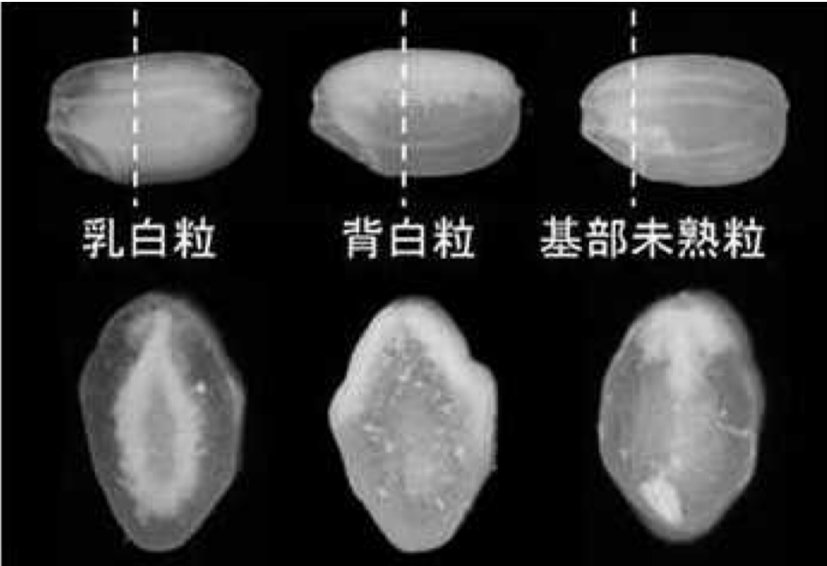
畦畔除草と適期防除は対策の基本！



水稻の高温登熟障害について

出穂期から20日間の平均気温が26～27℃を超えると、高温登熟障害が発生しやすくなる。

主な症状は玄米の白濁化、粒張りの低下、胴割れ粒の発生による整粒歩合の低下、胴割れ粒の発生による整粒歩合の低下および玄米1粒重の低下で、これらによる検査等級の低下が課題となっている。



登熟障害の発生要因と特徴

乳白粒		背白・基部未熟粒		胴割粒	
特徴	発生要因	特徴	発生要因	特徴	発生要因
・胚乳中心部が白濁する。 ・登熟初中期(出穂後10～20日頃)のデンプンの蓄積不良による。	・登熟期の高温 ・日照不足 ・籾数過剰 ・倒伏 ・水不足 複数の要因が重なると発生が著しく助長される。	・背白は玄米の背中側(胚のない側の縁)のデンプン集積が悪くなり、白濁する。 ・登熟後期(出穂後20日頃)のデンプンの蓄積不良による。	・登熟期の高温 ・登熟期の窒素不足	・米粒は不均一に吸湿・乾燥するため、その圧力で胚乳部に亀裂が生じて発生する。 ・特に出穂後10日間程度の高温で発生しやすくなる。	・収穫前の降雨による乾湿の繰り返し ・刈り遅れ ・収穫後の過乾燥

高温登熟障害対策 ①水管理

幼穂形成期から特にこまめな水管理をおこなひましょう。

幼穂形成期以降に高温が続く場合は、「**間断かん水**」から「**飽水管理**」へ切り替えが必要です。

飽水管理とは・・・

水尻を閉じて自然減水させ、田面の水がなくなった後、溝や足跡の底に水が残る程度になったらかん水する水管理のこと。

間断かん水よりも、よりこまめに入水する管理方法です。



飽水管理の足跡に水がたまっている状態
引用：新潟県稲作情報

【飽水管理の例】

夜間(早朝)かん水→自然落水→夜間(早朝)かん水 の繰り返し
気温が下がる夜間(早朝)に入水するのもポイントです。

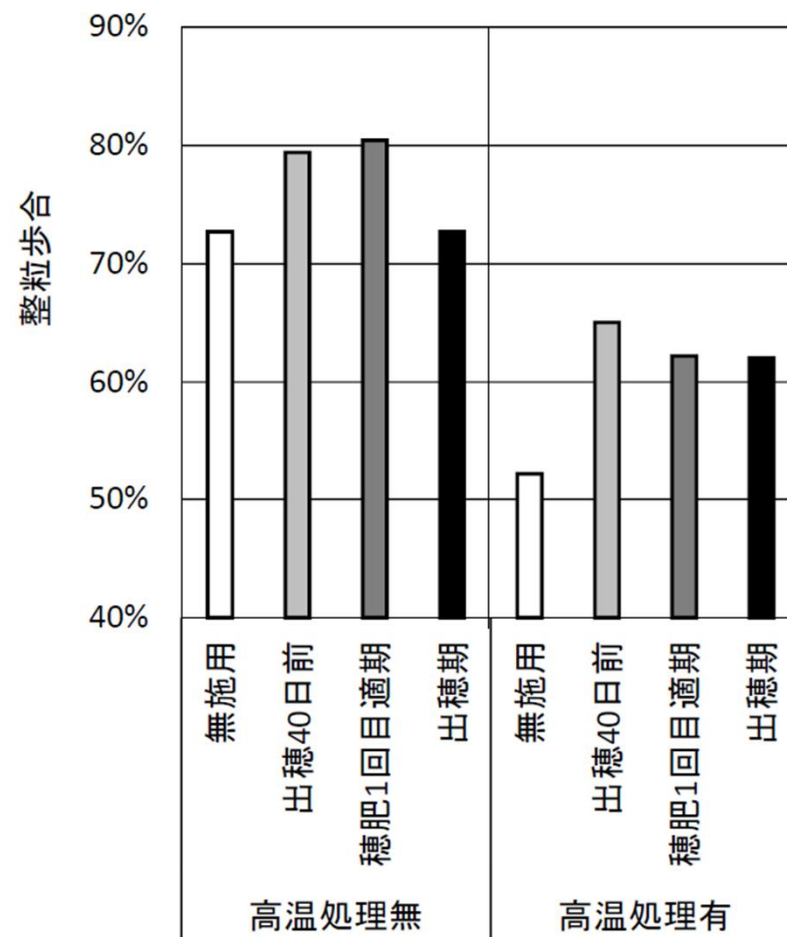
高温登熟障害対策 ②ケイ酸の中間追肥

出穂40日前頃のケイ酸の中間追肥は高温登熟障害に効果があるというデータがあります。(右図参考)

特に基肥でケイ酸資材を投入していなかったり、量が少なかった場合は効果が高いかと思います。

【中間追肥のポイント】

- 出穂40日前頃が効果が高い。
- 追肥に対応した、溶出しやすいケイ酸資材を使う。
- 粒剤は土が柔らかい中干開始前～中干し開始頃の施用がオススメ。



ケイ酸追肥時期別の整粒歩合
引用:新潟県農業総合研究所(H26、H27)

高温登熟障害対策 ③生育に応じた穂肥の施用

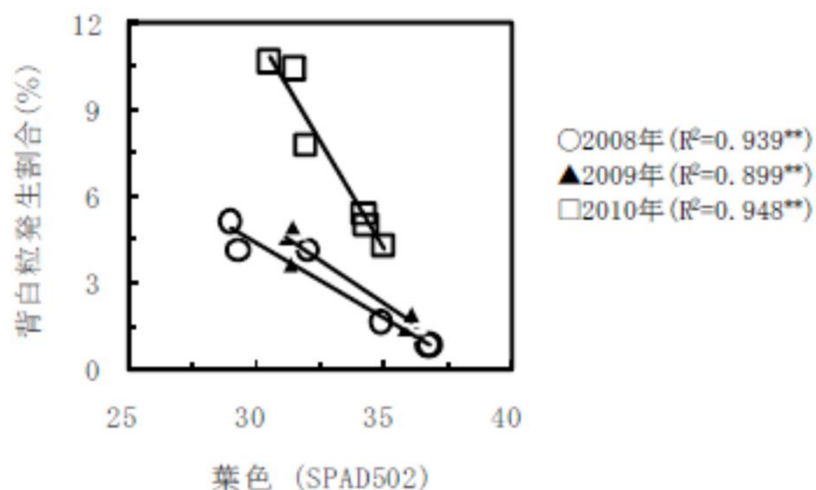


群馬県の地域・品種別施肥基準では、中間地帯のコシヒカリで、基肥で窒素で3～4kg、追肥で窒素で1.5～2kgの施用を推奨している。

利根沼田管内は、良食味米産地であり、タンパク含量を低くするために基準より肥料分を抑えて栽培する場合が多い。

近年の高温の影響で、生育前半に肥料分を消耗して、生育後半に肥切れをおこしている可能性がある。

高温対策として、生育に応じて穂肥を施用する必要がでてきています。



【穂肥が必要な条件】

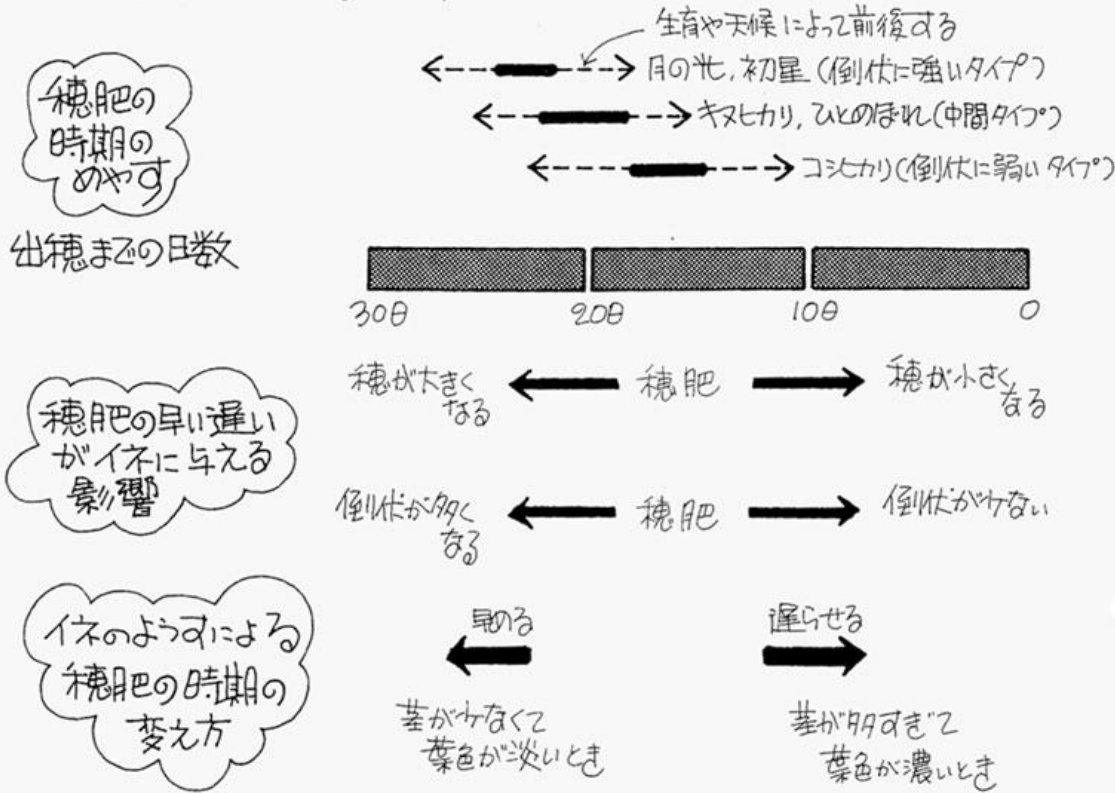
- 高温・多日照が続く年
- 葉色が薄い
- 出穂期以降の高温が予想される
- 最近粒張りが悪くなってきた

図 穂揃い期の葉色と背白粒発生割合

高温登熟障害対策

③生育に応じた穂肥の施用

●穂肥の時期を変えるための効果



○量が増えると・・・

収量は増えるが、倒伏しやすくなる。

○時期が早いと・・・

もみ数は増えるが、倒伏しやすくなる。

○時期が遅いと・・・

倒伏は軽くなるが、もみ数は増えない。タンパクが増えることにより、食味値が低下する恐れ。

⇒生育に応じて量と時期を調整することが大切！

穂肥施用の目安

・出穂前10～15日頃

・窒素成分量

1.0～1.5kg／10a

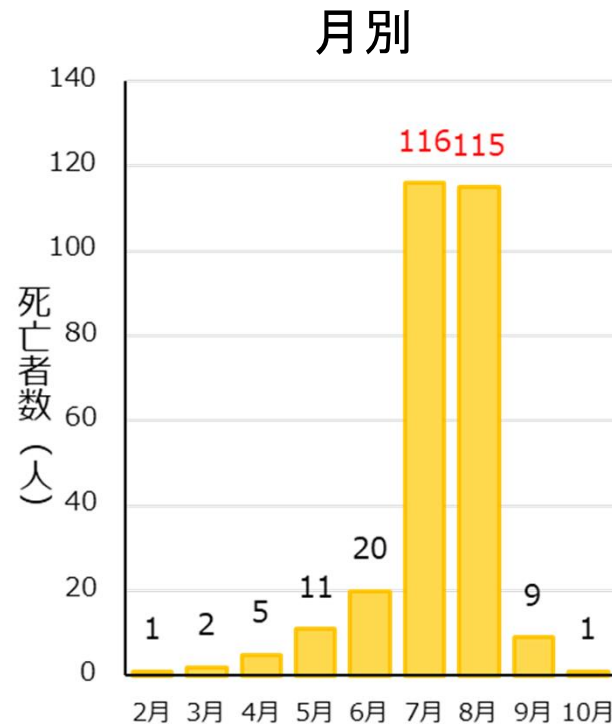
品種や生育状況で穂肥時期を変える(出典「新版 安心イネづくり」(農文協))

幼穂長と出穂前日数の関係(コシヒカリの場合)

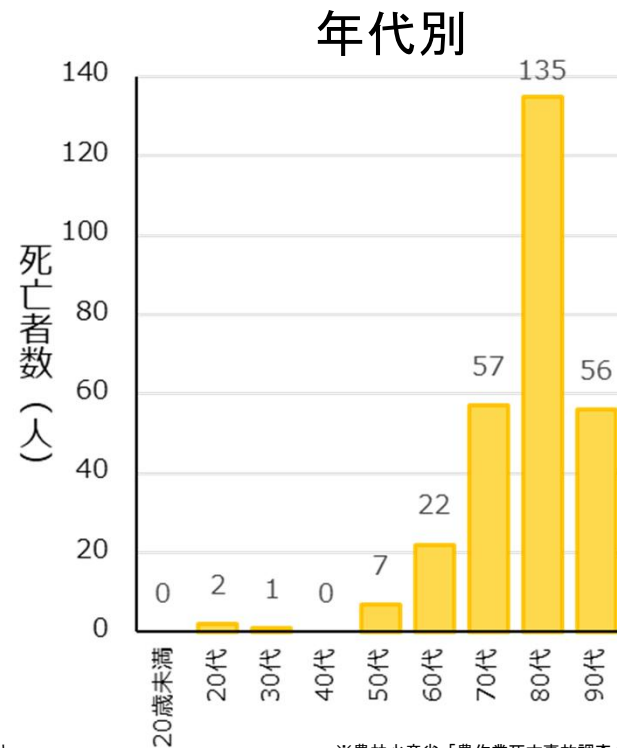
出穂前日数	25	18	15	12	10	6
幼穂長(cm)	0.1	0.8～1.5	2	6	8	20

農業における熱中症について①

農作業中の熱中症による死亡者数(平成26年～令和5年の累計)



※農林水産省「農作業死亡事故調査」より



※農林水産省「農作業死亡事故調査」より

- ・農作業中の熱中症による死亡者は特に7～8月に集中している。
- ・70代以上の高齢者が大多数を占めている。
- ・気象庁の3か月予報によると、関東甲信では例年より暑くなることが予想されており、一層の熱中症対策が必要。

農作業前の熱中症対策

・暑熱順化

気温が高くなる前の時期から体を暑さに慣れさせる。(例: ストレッチ、ウォーキング、お風呂)

・プレクーリング

作業を始める直前に冷たい飲み物や冷やしたタオルで体温を低下させる。

農作業中の熱中症対策

・こまめな休憩と水分・塩分補給

のどが渴いていなくても、20分おきにコップ1～2杯以上を目安に水分補給する。

・単独作業は避ける。

・熱中症対策アイテムを活用する。

(例: 空調服、ネッククーラー)

農業における熱中症について②

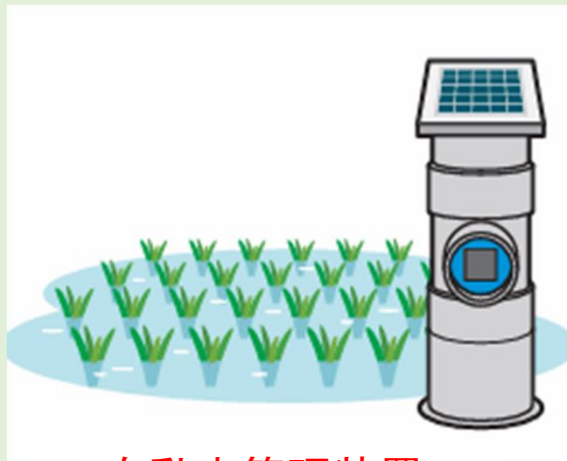
熱中症を避ける農業へのシフト

農作業を省力化・軽労化することで熱中症リスクを軽減するという考え方があります。
スマート農業技術や農業サービス事業者の活用等を検討することも有効です。

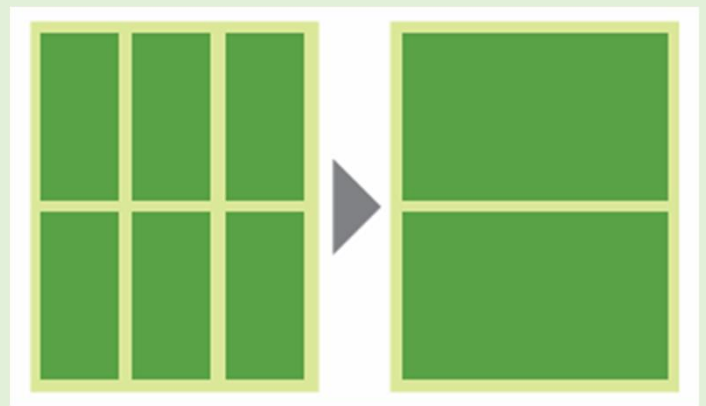
【水田作の例】



ドローンサービスによる農薬
散布・追肥



自動水管理装置



畦畔除去による草刈りの作業
面積の縮減

少しでもおかしいと思ったら、無理せず休むことが重要です。
症状が中等症以上のときは躊躇せずに救急車を呼びましょう。

救急車が到着するまでの間、作業着を脱がせ全身を急速
冷却しましょう。

中等症以上のとき

頭痛
嘔吐
倦怠感
虚脱感
集中力や判断力の低下